

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 科学技術振興センター照明器具更新工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 新産業・エネルギー振興課 成長産業係

電話番号：058-272-1111 (内 2935)

E-mail : c11353@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 195,926 千円 (前年度予算額：4,400 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,400	0	0	0	0	0	0	3,900	500
要求額	195,926	0	0	0	0	0	0	0	195,926
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県科学技術振興センターの照明器具は、設置から22年が経過しており、経年劣化による安定器等の損傷が多くなっている。また、蛍光灯等の部品製造を終了したメーカーもあり、修繕できないことが見込まれる。

照明器具が使用できなくなった場合、適正な室内環境を維持できなくなり、センターの運営に多大な支障をきたす恐れがあるため、早急な更新工事が必要となる。

(2) 事業内容

照明器具の更新にあたり、令和2年度に策定した実施設計に基づき、令和3年度に更新工事を実施する。

○総事業費：200,326 千円

<内訳>実施設計： 4,400 (R2)

工 事 費：195,393 (R3)

事 務 費： 533 (R3)

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

指定管理者との協定により、1ヵ所あたり60万円以上となる施設の修繕については、県が負担することとしている。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
工事請負費	195,393	
事務費	533	旅費 120 消耗品費 253 燃料費 60 役務費 100
合計	195,926	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

県有施設中長期保全計画(管財課)に位置づけ

R2年度:実施設計

R3年度:工事

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県科学技術振興センターの照明器具を更新し、常に快適なセンター利用状態を維持する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

施設設備等の更新工事であり、具体的な達成目標を設定できない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

「岐阜県科学技術振興センター照明器具更新実施設計」の策定

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
策定した実施設計を基に、照明器具の更新を行う。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	岐阜県科学技術振興センターは開館から22年が経過し、経年劣化により施設設備等の修繕や備品の更新が必要となっているなかで、県民に快適に利用していただくため、適切な維持管理をする必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	計画的に更新を実施することで、故障時の対応が容易にでき、会議室や入居者が快適に利用できる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	指定管理者からセンターの運営に支障がない日程等を聞き取りながら、計画的に実施する。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>岐阜県科学技術振興センターは、開館から22年が経過し、経年劣化による照明器具の故障が懸念される。また、蛍光灯等の部品製造を終了したメーカーもあり、修繕できないことが見込まれるため、照明器具の更新が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>令和2年度に策定した実施設計を基に、照明器具の更新工事を実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	